

# 小中学校 特別活動の指導におけるICTの活用

県教育庁義務教育課

## 学級活動・ホームルーム活動における活用例

### 集団や自己の生活上の課題を解決するために学習者用端末を活用して

- 生活場面を撮影したり、サイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。
- 個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。
- 解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。
- 実践を撮影及び編集し、他者と共有したり、互いの記録を統合して次の課題解決につなぐ。



## 児童会・生徒会活動における活用例

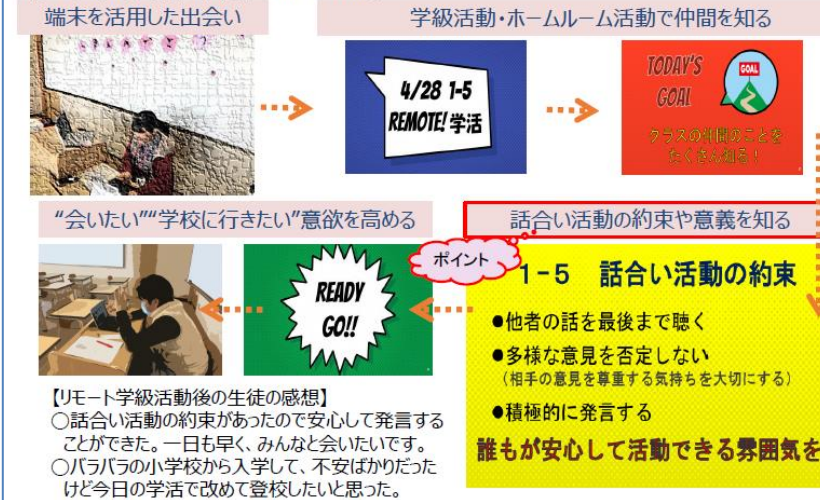
### より充実した集団活動、実践的な活動、そして自発的、自治的な活動の実現のために学習者端末を活用する

- 全校など大きな集団の意思表明、合意形成に向けた学習過程を大きく変え、話し合い活動がより充実する。
- 活動の実態を客観的に把握し、集団においても適時的確に共有できる。
- 生徒会活動や学校行事ではアイデアを効果的に伝播できる。
- イメージしにくい現象を動的にシミュレーションすることで、理解をより深めることができる。



## 中学1年 ICT端末を活用して“出会う”

中学1年生は、4月入学当初から臨時休業期間中であったため、学習者端末を通して、学級・ホームルームのみんなと初めて出会うことができました。



## 学級（ホームルーム）活動 ICT端末を活用して“話し合い活動の基盤をつくる”

リモート学級活動・ホームルーム活動で学級・ホームルームづくり



## 学級（ホームルーム）活動

## ICT端末を活用して

### 児童生徒の声（写真がモーション）



- リモートSHRがあったので生活のリズムができた。
- リモート学級活動でみんなの意見を知ることができてよかった。あと、みんなの顔が見られたのもよかった。
- リモート朝の会があることで勉強のスイッチが入った。
- リモートホームルーム活動で、本当なら見れないはずだったみんなの顔が見られて、元気になったしやる気も出た。
- リモートランチ会、心が温かくなった。

### 教員の声



- 【リモート学級活動後の教員の感想】
- 生徒にとって何よりの活力になった。
- 保護者に最も喜ばれた。
- 教員だからできること、しなければならなかったことが明確になった。
- 特別活動の重要性を再認識した。
- リモート学級活動によって集団に安心感が生まれた。
- 画面の中でも生徒の顔を見て、私が一番モチベーションを上げた。

ここに掲載した内容は、文部科学省 HP「各教科の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料」から抜粋したものです。詳しくは、下記文部科学省 HP をご覧ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00915.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html)

